

QOL

Quality
Of
Life

QOL
サポーター
新潟

37

2015年4月1日発行
新潟医療福祉大学広報委員会編集



3月11日(水)、新潟市の朱鷺メッセにて、第11回卒業式・大学院修了式が行われ、789名の学部生と36名の大学院生が新たに社会へと巣立ちました。

- Index
- 学長・副学長の挨拶
 - 新入生へのメッセージ
 - 理学療法学科 入学定員増のお知らせ
 - 卒業生レポート
 - 暮らしサイエンス
 - 大学院生研究紹介
 - クラブ&サークル活動pick up!
 - CAMPUS NEWS
 - 受験生の皆さんへ



新潟医療福祉大学



新潟医療福祉大学 学長 山本 正治

【専門】公衆衛生学、予防医学 【学位】医学博士 【所属等】新潟県環境審議会会長、新潟県医療審議会会長、日本がん疫学研究会総会会長、日露医学医療交流財団国際シンポジウム機構長、日本衛生学会総会会長、新潟県空手道連盟特別顧問 等

人間力の基礎を固めよう!

本学は開設15年目の若い大学ですが、昨年に引き続き入学者数が1000名を超えました。開学時の入学生は、約300名でしたので急成長しております。また、就職率も全国の大学の中で有数の高さです。私は、学長として入学者数の増加や極めて高い就職率を誇りに思っています。このような本学への入学を心からお祝いします。

マスコミ報道によりますと、今年は「節目の年」と言われております。すでに、今年の漢字は「節」で決まったとも言われております。何故かと言いますと、今年は1945年の終戦から70年に当たるからです。

そこで、「節目」の意味を辞書で調べてみました。「物事の区切り目」とあります。また、代表的用語に「人生の節目」があります。「節目」には、様々な使い方があります。先ほど紹介した「節目の年」だけでなく、「人生の節目」も重要な意味を持っております。ちなみに私は、今年の干支である未年生まれで、7回目の年男となりました。これから節目をキーワードにこの一年間の過ごし方について考えてみたいと思います。

本学は、創立15年目の節目の年に当たりますので、今年の本学の在り方について改めて考えてみました。そして得た答えは、“足元を固めること”でした。2001年の開学以来、建学の精神である「優れたQOLサポーターの育成」や、2020年までの長期目標である「在学生5000名の大学にする」ことを目指して、私たちは全力疾走して来ましたが、ここで少し立ち止まって足元を固めたいと思いました。特に、私たちは面倒見の良い大学を標榜していますので、“学生の面倒をしっかりと見る”仕組みをじっくり作りたいて考えています。

皆さまの場合の節目は何でしょうか。念願叶って大学入学を果たしました。まさに人生の節目の年です。これからの一年間、この節目を意識して大学生活を送っていただきたいと思います。では、どのような過ごし方をすれば良いのか

少し考えてみます。

皆さまには、この一年間、“人間力の基礎を固めること”を意識して過ごして欲しいと願っています。「人間力」とは、「社会の中で自立した一人の人間として力強く生きるための総合的な力」と定義されています。人間力を高めるために何をすべきかについて、多くの人が様々なことを言っています。まさに百家争鳴の状態です。そこで私も論議に加わり、吉田松陰に焦点を当てて人間力について考えてみました。

吉田松陰は、今年のNHKの大河ドラマ『花燃ゆ』に登場しています。ヒロインの文は松陰の妹です。また、一昨年ふみの大河ドラマ『八重の桜』にも出ておりました。松陰は、松下村塾しゅうか せんの塾生に対して三つのことを話しております。一つ目は「立志こころざし」、志を立てること。二つ目は「読書」。三つ目は「択友たくゆう」、友を選ぶことです。私は、この三つが人間力を高めることに役立つと理解しました。

吉田松陰の時代より160年の時空を飛び越えて現代に戻りますが、松陰が言った三つのことは、本学では全て対応可能です。「立志」には、「夢を語る会」を準備しています。ここで自分の志を確認する機会として下さい。「読書」には、人間力を高めるための本を図書館に揃えています。ここで読書に励んで下さい。「択友」には、「校友会・クラブ活動」です。自分の興味のある文化活動やスポーツに励み、ここで生涯の友となれる人を見つけて下さい。この一年間に人間力の基礎を固め、将来は本学の建学の精神である「優れたQOLサポーター」になっていただきたいと願っています。

創立15年目を迎える節目の年に当たり、私は学長として“足元を固めること”を決意しました。面倒見の良い大学を標榜していますので、皆さまが“人間力の基礎を固める”ために、私たち教職員は惜しみない支援を約束します。(入学式式辞を要約したものです。詳細は本学HP「学長メッセージ」をご覧ください。)



副学長(国際交流・強化スポーツ担当) 渡辺 敏彦

【専門】国際交流、職業教育 【所属等】学校法人新潟総合学園 副理事長、新潟県専修学校各種学校協会会長、新潟県私立学校審議会委員、新潟県私学振興会副理事長、全国専修学校各種学校総連合理事、全国経理教育協会副理事長、職業教育・キャリア教育財団理事、新潟日米協会会長 等

国際交流の重要性

本学の設立の基本理念は、1.「優れたQOLサポーターの育成」2.「地域社会のニーズに応える」3.「国際交流と国際貢献」の3つです。1と2・3は全く別項目のようですが、実は大変深く関わっています。即ち、優れたQOLサポーターは、まさに“地域社会”の中で、保健・医療・福祉・スポーツ分野で活躍する訳ですので、2の地域社会とそのニーズを知る必要があります。3の「国際交流と国際貢献」ですが、QOLサポーターの活躍する専門分野は、もちろん日本だけで独立している訳ではありません。日本が世界の様々な国々と交流をして影響を受け、いわゆる「グローバル社会の中の日本」という状況に置かれている訳ですが、専門分野もまさに同じ状況にあると言えます。

そこで、QOLサポーターとしては、活躍する分野の置かれているこの状況を理解する必要があります。即ち広い視野と最新の情報を得ることが大変重要です。その為の有効な手段は、「国際交流」であると思います。

さらに、QOLサポーターの「ハード」の部分は、上で述べた最新の情報・知識と優れた技術だと思いますが、その「ソフト」の部分は、人間性とコミュニケーション力になると思います。コンピュータと同様に、「ハード」は「ソフト」がないと機能しない訳ですので、人間性やコミュニケーション力を養い、それを磨くことが大変重要だと考えます。そして、その手段もまた、「国際交流」がうってつけだと思います。本学では、その機会を提供していきますので、皆さんに積極的にトライして欲しいと願っています。



副学長(教育担当) 江原 義弘

【専門】三次元動作解析、バイオメカニクス、歩行分析 【学位】博士(工学) 【所属等】臨床歩行分析研究会、バイオメカニクス学会理事、日本義肢装具学会 等

目を見て挨拶しよう

新入生の皆さん。ご入学おめでとう! 優れたQOLサポーターになるという夢をもって本学を進学先として選択してくれてありがとう。在学生、教職員をあげて皆さんを歓迎します。これから皆さんは、本学のQOLサポーターの仲間入りです。どうぞよろしく願います。

さて、外部から本学にいらっしゃる方々が褒めてくださる本学の良い学風についてお話しします。それは、本学の学生は、声を出してよく挨拶をするということです。すれ違うときに「おはよう」、「こんにちは」と大きな声で挨拶をします。先輩に対して、後輩に対して、同級生同士、教職員に対して、外部のお客様に対して、元気に挨拶ができます。人と人とのコミュニケーションは挨拶から始まります。早くこの学風に馴染んでください。すぐに実行できて、しかもとても大事なことです。挨拶をするコツは、学内で他の学生・教職員などとすれ違う際に目を合わせることです。「目を合わせる」というのは相手をじろじろ見るのとは違いますよ。失礼なことではありません。むしろ無視をする方がずっと失礼です。目と目が合えば、挨拶はおのずから出てきます。「おはよう」、「こんにちは」という大きな声が自然に出てきますよ。



副学長(地域連携担当) / 社会福祉学部長 丸田 秋男

【専門】地域福祉政策、社会保障政策、児童家庭福祉論、学校ソーシャルワーク 【学位】修士(地域政策学) 【所属等】日本地域政策学会(常任理事)、日本子ども家庭福祉学会、日本ケアマネジメント学会、日本社会福祉学会、新潟県生涯学習審議会会長、新潟県自立支援協議会長、新潟県水俣病施策推進審議会委員、新潟県第三者評価事業推進委員会委員長、新潟市社会福祉審議会委員長、新潟市環境審議会委員、新潟市地域医療推進会議委員 等

日常的な知の営みを大切に!

本学は、皆さん一人ひとりが、自らの可能性にチャレンジし、その可能性を限りなく追及することのできる大学です。本学の学生は、保健・医療・福祉・スポーツ分野における専門知識・技術を学ぶだけでなく、環境やまちづくり、ひとつづくりなど幅広い分野でのボランティア活動や地域貢献活動をととして、豊かな感受性と想像力を身につけるよう努めています。

具体的には、ウォーキング運動等による市民の“健康”づくりや、耕作放棄地で栽培したサツマ芋を使った洋菓子開発、地域住民と協働での地域活性化や新しいコミュニティづくり、小学校や特別支援学校における放課後支援、小・中学校におけるスポーツ支援、小・中・高等学校における学習支援など、多様な地域貢献活動に取り組んでいます。

特に、北区の小・中学校における学習活動や特別活動等の支援は、学科に関係なく誰もが自主的に参加できるものです。次世代を担う小・中学生に心のアンテナを振り向け、楽しさや喜びを感じる体験を積み重ねてください。

新入生の皆さんは、大学の4年間で何を学ぶのでしょうか。各学科のプロフェッション(専門職)教育において、それぞれの専門職固有の専門知(モノの見方や考え、理論と技術)を学ぶのは当然のことです。その当然の学びと併せて大切なことは、大学のキャンパスはもとより地域での生活をととして「自己の存在の価値に気づくこと」、「他者としての人間理解を深めること」です。本学の地域貢献活動に主体的に参画し、日常的な知の営み(日常知)を大切にしてください。この日常知の蓄積が、皆さんの専門職としての人生を大きく左右するといっても過言ではありません。

新入生へのメッセージ

新入生の皆さん ご入学 おめでとうございます!!

～学科長&学生からのメッセージをお届けします。～

充実した学生生活を



理学療法学科 学科長 大西 秀明

これからの4年間は、皆さんの人生のなかで最も充実した時期になると思います。自由な発想のもと勉学を含めて全てのことに対して積極的に行動を起こしてください。幅広い知識や教養、高い倫理観と責任感を培いながら、4年間の大学生活を楽しく有意義に過ごされることを期待しています。



夢を実現するために



健康栄養学科 学科長 斎藤 トシ子

人の命や健康を守るために「医師」と「調理人」の架け橋として誕生した職業が管理栄養士です。4年後(大学院進学者は6年後)、有能で優しい「管理栄養士=いわゆる食卓の医師」になることができるよう、専門の勉強だけではなく、専門外の勉強、読書、ボランティア、学内外、国内外の人との交流など、多くの体験を積むことを期待しています。



有意義な大学生活を



作業療法学科 学科長 大山 峰生

皆さんにとって大学生活は、友情を育み、人生について考え、人格を形成する大事な場となります。その期間には、大きな楽しみがある一方で忍耐・努力を必要とする辛いこともあります。しかし、皆さんは作業療法士になるという自らの目標を決めて忘れることなく困難に打ち勝ち、有意義で悔いのない大学生活をお過ごしください。期待しています。



大学生に期待するもの



健康スポーツ学科 学科長 丸山 敦夫

現代社会では、健康とスポーツはとても注目されています。健康は高齢者社会でより良く生きるための大事な財産です。健康なからだとこころはからだを動かして高めることができます。2020年の東京オリンピック開催に向けてスポーツは大変盛り上がっています。スポーツでからだを鍛えて、仲間を作り、そしてからだこころを高めます。皆さんの活躍を期待しています。



「ことばの力」を



言語聴覚学科 学科長 山岸 達弥

言語聴覚士は、時に「ことばの先生」と呼ばれることがあります。ことばがうまく話せない、理解できないなどで困っている人を支援するリハビリテーションの専門職ですが、様々な場面で「ことばの力」を体験できる仕事でもあります。「ことばの力」を分かち合う瞬間—エキサイティングな世界が待っています。



人間力を培う



看護学科 学科長 塚本 康子

看護の基礎は、人間力とそれに基づく人間関係だと思います。4年間で教養や倫理観、専任感を培いながら、人として大きく羽ばたいて欲しいと願っています。何事にも前向きに、自分らしさを大切にしながら、充実した学生生活を楽しんでください。



本学で専門職としての基盤を!



義肢装具自立支援学科 学科長 東江 由起夫

本学科は、世界で初めての義肢装具と福祉用具の製作適合の技能をもった義肢装具士を育成する学科です。在学中の4年間は、高等教育機関(大学)の学生であることに誇りを持ち、義肢装具ならびに福祉用具の学問に勤んでください。そして、対象者とその家族の日々の生活を支える真の専門職になって欲しいと願っています。



専門的知識・技術と温かなこころ



社会福祉学科 学科長 松山 茂樹

社会福祉士は、社会福祉の専門的知識・技術を身につけると同時に、弱い立場の人に心を寄り添わせることができる、温かなこころを育む必要があります。新入生の皆さんが、授業や学外実習・ボランティア活動などを通して充実した学生生活を送り、4年後には温かなこころをもった社会福祉士として巣立つことを期待しています。



青年よ、大志を抱け



臨床技術学科 学科長 追手 颯

本学科は、臨床検査技師と臨床工学技士の同時取得を目指す学科です。大きな目標を達成するためには、国家試験合格に向けた勉学の必要性は言うまでもありませんが、この動機付けとなる課外活動を含めた日頃の人生を、若人らしく楽しむことも重要です。4年間という短い学生時代、悔いの残らないよう毎日をお過ごし下さい。



自分で決めて、目いっぱい頑張る!



医療情報管理学科 学科長 福島 正巳

高校までとは違い大学は、自分で決めて頑張る姿勢—“主体的に取り組む姿勢”が大切です。もちろん勉強が第一ですが、クラブ・サークルやボランティア、バイトなどに精一杯取り組めば、「悔いの無い学生時代だった!」ときっと思えるでしょう。また、その姿勢が、資格試験・就職といった将来に繋がる門を開く鍵になります。楽しい学生生活であることを願います!



積極性と自主性が重要



理学療法学科 3年 高根 和希

2年生からは、病院実習が始まり実際に病院などの施設を訪問します。実習はとても勉強になりますが、どれだけ学べるかは皆さんの積極性と自主性が重要です。積極的な挨拶や質問、分からないことは自主的に調べ、実習で学んだことを余すことなく吸収し、それらを自分の武器にできるよう、何事にも積極的に取り組んでください！



仲間と共に



健康栄養学科 3年 鈴木 香澄

私の場合、試験前は自宅よりも大学で勉強することが多いです。なぜなら、同じ学科の仲間と分からないところはお互いに教え合い、助け合いながら知識を深めることができるからです。それでも分からないところは先生方に質問し、分かるまで教えてもらえるので心強いです。皆さんも同じ道を目指す仲間を大切に充実した4年間を送ってください。



何事も楽しんだもん勝ち！



作業療法学科 2年 室橋 里奈

本学では、多くの学生が、一人ひとり自らの目標に向かい勉強に励む一方で、クラブ・サークルにも所属しています。クラブ・サークル活動は他学科の仲間と深く関わるチャンスであり、勉強だけでは学べないことを経験する場でもあります。ぜひ、クラブ・サークル活動など様々なことにチャレンジしてみてください。そして何事も「楽しむ」ことを忘れずに！



専門知識を身につけよう



健康スポーツ学科 2年 小山田 まどか

私は、強化指定クラブの女子バレー部に所属し、毎日練習に励んでいます。日々の授業との両立は大変なときもありますが、スポーツについての専門知識を多く学べるので、部活の練習やトレーニングに活かすことができ、自分の競技力向上に繋がっています。新入生の皆さんも、自分が専門としたい分野についての理解を深め、将来や日々の生活に繋がってください。



日々の学習が大切



言語聴覚学科 3年 本間 千尋

大学の定期試験は高校よりも科目数が多く、また覚えなくてはいけない知識がたくさんあります。そのため定期試験前だけでなく、日々の学習が大切になってきます。授業を集中して聞く、その日にあった授業の復習はなるべくその日に行う、分からないことはそのままにしないなど、日々の積み重ねを心掛けてみてください！



学会のボランティアはおもしろい



看護学科 4年 武田 真依

大学生活は、多くの学びがあります。私の印象的な学びは、本学の先生方が主催した連携学会のボランティアです。先生方のディスカッションは、幅広い知識と深さ、また臨床の経験に根差したものでした。その研究が患者様に対する熱い想いからきていると知り、私もいつか学会で発表してみたいと思いました。皆さんも多くの学びを得る大学生活を過ごしてください。



実習で感じる大切なこと



義肢装具自立支援学科 2年 天井 仁美

義肢装具自立支援学科では、1年次から義肢装具の製作を行います。また、2年次では実際に下腿切断者の方をお呼びして下腿義足を製作します。いかに安全でスムーズな歩行を提供できるか、自分たちの知識と技術を磨きます。切断者の方から感謝と笑顔をいただいた時の達成感忘れられません。大学生活4年間で共に優れたQOLサポーターを目指しましょう！



学びの場は無限大！



社会福祉学科 3年 本田 大輔

私は、障がい児支援の放課後等デイサービスでのボランティアをきっかけに、現在は支援員のアルバイトをしています。時には、自分の支援が正しいのかと悩むときもありますが、子供たちと遊んで笑顔を見ていると、本当に嬉しく思います。経験を重ねながら「やりがいを感じられること」が、支援員の魅力だと思います。皆さんも、積極的に参加してみてください。



基礎ゼミは、すごく楽しい！



臨床技術学科 2年 鈴木 克英

大学生活に期待する反面、不安もあることでしよう。そんな不安を和らげてくれるのが基礎ゼミです。基礎ゼミは、私生活でも楽しく過ごせる仲間を作れる場でもあります。また、ゼミの先生は、学習面だけでなく生活面にも優しく相談に乗ってくれます。大学生活をスタートするうえで、繋がりを広げるチャンスなので楽しみにしてください。



キャンパスライフ



医療情報管理学科 1年 高橋 美貴

大学生活は、高校生活に比べ自由な時間が増えます。一番大切なのはもちろん勉強ですが、時間を活用して、クラブ・サークル活動やアルバイトに励んだりすることで、他学科の人や色々な年代の方との交流もでき、とても良い経験に繋がります。勉強を怠らせずに、自分のやりたいこと、興味のあることはぜひ挑戦してみてください。



充実したキャンパスライフを



視機能科学科 1年 川上 桃子

大学生は、高校生の時より自由な時間が増えます。その中で時間を有効に活用し、積極的に活動することが大切です。クラブ・サークル活動、ボランティア活動などに参加することは自分を成長させてくれます。また、学習面では自分から学んでいく姿勢が大切です。勉強と遊びのメリハリをつけ、充実した楽しいキャンパスライフを過ごしてください！



医療技術学部 理学療法学科 入学定員増のお知らせ



医療技術学部 理学療法学科では、2016年4月より入学定員を80名から120名へ増員することを計画しています。超高齢社会の到来や国を挙げた健康増進の推進など“理学療法士”への社会的ニーズが高まる中、日本最大規模の理学療法士養成校に生まれ変わります。

2016年4月 定員増!

入学定員80名

120名

※収容定員増加の認可申請中



定員増を行う背景

「リハビリ」から「介護予防」まで、これからの健康長寿社会を支える“理学療法士”へのニーズが急拡大!

超高齢社会の進展に伴い、医療・福祉分野の専門職のニーズはますます拡大しています。また、国はこれまでの“長く生きる”から“健康に長く生きる”といった『健康寿命』の延伸を重点課題とし、健康長寿社会の実現に向けた様々な取組みを推進しています。こうした中、厚生労働省は団塊世代(約800万人)が75歳以上を迎える2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続できるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。理学療法士は、その中核を担う専門職として高い注目を集めており、今後、高齢者施設や訪問リハビリなど、より幅広い現場での活躍が期待されています。

ますます拡大する“理学療法士”の活躍の場
「スポーツ」「健康増進」分野でも活躍が期待されています!

超高齢化やスポーツ人口の増加などを背景に、怪我や病気の“予防”に対する重要度が増加し、理学療法士が行う「運動療法」による効果が注目されています。こうした状況を受け、平成25年11月には厚生労働省が「理学療法士の名称使用に関する通知」を発表し、理学療法士は“身体に障害を持たない者”を対象にトレーニング指導や転倒予防の指導を行うことが可能となりました。これにより、理学療法士は医療機関でのリハビリに留まらず、スポーツクラブなどのスポーツ関連施設や、介護予防関連施設、高齢者施設など、「スポーツ障害の予防」や「健康の維持・増進」といった分野でのニーズも拡大しており、活躍のフィールドは更に拡大しています。

目標とする資格

理学療法士(国家資格)

全国トップクラスの
国家試験合格率&就職内定率!

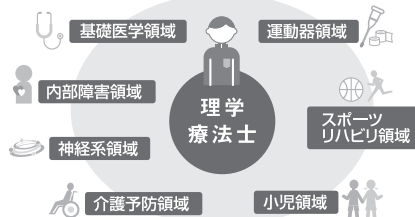
平成25年度 理学療法士
【国家試験合格率】
本学 **97.5%**
第1期生卒業以来、
10年連続で全国平均を上回る合格実績!
全国平均 **83.7%**

平成25年度
【就職内定率】
本学 **100%**
第1期生卒業以来、
10年連続で就職内定率
100%を達成!

教育の特色

日本最大規模の教員数で学生一人ひとりの夢を実現!

日本最大規模の教員数を有することで、理学療法士が活躍するあらゆる領域に応じた専門教員の配置が可能となり、学生一人ひとりの目指す将来像に合わせて、より実践的に学ぶことができます。また、今後ますますニーズの高まる“介護予防”や“スポーツ障害”分野の第一線で活躍する教師陣を配置し、時代のニーズに対応する次世代の理学療法士を育成します。



スポーツ分野に強い理学療法士を育成!

全国でも数少ない、スポーツ分野の学科を併設する独自の環境を活かし、“スポーツ医学”や“スポーツ障害”など、スポーツ領域に関連する専門科目を数多く配置しています。さらに、本学強化指定クラブの試合への帯同や選手へのサポート活動などの機会を通じて、【スポーツリハビリ】について、より実践的な知識・技術を身につけることができます。

全国トップクラスの設備環境!

学生数に応じた最高水準の学内実習環境を備え、学生一人ひとりの実践力を高めめます。動作解析室には、身体動作を立体的に解析することのできる「三次元動作解析装置(VICON)」を配置し、立つ・歩くなどの基本的動作はもちろん、競技スポーツ特有の様々な運動動作の解析を行うことができます。学生はこうした環境を活用することで、より効果的なりハビリの開発や、アスリートのパフォーマンス向上など、多様な研究活動を行うことができます。

卒業後の進路

本学の学びが就職に直結!
全国トップクラスの就職実績を実現!

病院等医療機関

教育・研究機関

介護老人保健施設・社会福祉施設

健康増進・スポーツ関連施設

行政機関・保健所

など

今後、理学療法士の役割が拡大する中、次代を見据えた幅広い領域の学びは、医療現場に限らず、地域福祉や介護予防、健康増進、スポーツ分野など、あらゆる場面で活かすことができます。本学のこうした取り組みは卒業後の就職にも直結し、第1期生の卒業以来10年連続で就職内定率100%を達成するなど、全国トップクラスの就職実績を実現しています。

Graduate Report

理学療法士の魅力



新潟臨港病院
【理学療法士】
本間 大介さん

新潟県 長岡大手高校出身
大学院保健学専攻理学療法学分野
平成25年度卒業

私が現在勤務している病院は、術後すぐの急性期から回復期、そして維持期まで、幅広い機能を備えており、様々な患者様がいます。その分日々の業務は大変ですが、理学療法士という仕事にとても魅力を感じながら働いています。なぜなら、“患者様の回復していく姿や笑顔を見ることが出来る”からです。理学療法士は入院されている患者様にとって、非常に近い存在です。医師の指示のもと、患者様の事を考え、他の職種と連携しチーム全体でアプローチしていく中で少しずつ元気になる姿を傍で見ることが出来るのは、理学療法士という仕事の魅力だと感じています。



➡ 本学での学びは、現在の仕事にどのように活かされていますか？

私が大学で学んだことは、“疑問をもつことの大切さ”と“疑問を解決するための考え方”です。患者様は授業で教わることだけでは分からない多様な症状を呈することが多くありますが、だからといって考えるのをやめるのではなく、疑問や問題点をしっかりと捉え解決できるように取り組むことは非常に大切なことだと実感しました。大学で学んだ“疑問との接し方”は臨床現場での活動に非常に役立っています。

➡ これから理学療法士を目指す高校生や在学生へメッセージをお願いします。

理学療法士になるためには、なる前だけでなく、なった後もたくさんの勉強をしなければいけません。きっと数多くある試験の前には、挫けそうになることもあるかと思いますが、その大変な期間を乗り越えた今、私はこの仕事に就いて良かったと感じています。思い描く将来の自分を胸に、夢に向かって頑張ってください！

Graduate Report



新潟県立中央病院
【作業療法士】
吉田 智夏さん

新潟県 高田北城高校出身
作業療法学科
平成25年度卒業

あなたの生活が見たいんです！

私は、高校1年生の時に初めて作業療法士という職業を知りました。当初は手のリハビリをする職種という認識でしたが、学んでいく中で作業療法士とは、その人の生活に向き合っていくプロであると感じました。現在、私は上越市にある県立病院で作業療法士として働いています。患者様の「あんなこと、こんなことで困っている」という一人ひとりの訴えを受け止め、要望に応えられる作業療法士になることが現在の目標です。まだまだ模索の毎日ですが、患者様が笑顔で生活を送れるように日々成長していきたいです。



➡ 本学を一言で表すとしたら何になりますか？

「繋がり」

ーその理由ー

大学では、手厚い指導をしてくださる先生方、そして苦楽を共にした友人達と出会うことが出来ました。この4年間で育んだ繋がりは一生切れることはないと思います。現在でも悩むことがあれば先生方や友人に連絡することもあります。この繋がりが生まれたのは新潟医療福祉大学で学んできたからこそだと思います。今後もこの出会いに感謝し、より繋がりを広げていきたいです。

➡ これから作業療法士を目指す高校生や在学生へメッセージをお願いします。

作業療法士の仕事は、幅広い年代の患者様と出会うことができ、その中で学ばせていただくことがたくさんあります。もちろん悩むこともあります。やりがいを持つ仕事です。一緒に患者様や、そのご家族の笑顔のために頑張らしましょう。将来を決める分岐点でたくさん悩んでいることと思いますが、まずは挑戦してみましょう。やってみなければわかりません！皆さんの持っている力を存分に発揮してください。応援しています。

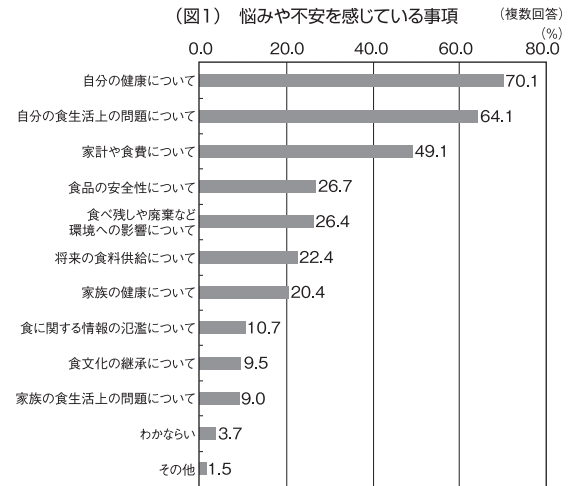
食の自立のために、健康な身体と食の選択を考えよう

健康栄養学科
准教授 入山 八江

もうすぐ一人立ちする皆さん、健康な毎日を送れる自信はあるでしょうか？ 今はどこにでもコンビニがあるので、食事は簡単に手に入ると考えている人がいるとしたら、それは健康について考えていない人です。一人暮らしをしたら急に太りだして困った人や、身体を壊してしまう人もいます。平成21年に内閣府が1,223人の大学生に対して行った食生活実態調査によれば、日頃の食生活への悩みや不安を感じているという人は、男性が27.2%、女性が40.3%と高くなっています。悩みや不安の内訳をみると、「健康について」が70.1%、「食生活上の問題」が64.1%で、「食費」や「安全性」よりも高くなっています(図1)。さらに、「伴侶となるべき人に、料理ができることを期待する」とした人が、男性で90.2%、女性で89.6%と差がありません。このことから、食事作りに対する不安が男女ともに感じられ、いずれも伴侶となる人に期待をしている結果となっています。

実践面では、朝食の摂食状況において「毎日食べる人」が61.1%で、身体面の健康状態との関係性をみると、健康であると回答している人ほど朝食の摂食頻度が高くなっています。また、栄養バランスへの意識や食育への関心が高い人ほど朝食の摂食頻度が高くなっています。

なぜ、このように意識の違いが出てくるのでしょうか。それには、「料理が簡単に作れる」「栄養のバランスが悪いと健康に悪影響があることを知っている」など、個人のスキルや知識、食環境が大きく関わっていると言われてしています。料理作りは「栄養バランスが良い食物が選択できる」「色々な食材が入手しやすい」ことが重要です。一流のスポーツ選手は身体のコンディショニングのために自分で食事を組み立てることが上手いと言われる。高校生のうちから、ご飯を炊いたり、簡単なゆでものをしたりして一食を整える体験を積み重ね、食の自立を図ってください。



参考文献
大学生の食に関する実態・意識調査報告書
<http://www8.cao.go.jp/syokuiku/more/research/pdf/syoku-report.pdf>

新生活とストレス ～上手なストレスの感じ方～

健康スポーツ学科
講師 遠山 孝司

「ストレス」という言葉の本来の意味を知っていますか？ 心理的なストレスは、実験状況で辛い目にあつたラットの反応について、カナダのセリエ(生理学者)が1936年の論文で最初に取り上げました。そのため、当初ストレスは、「心や体の緊張状態を引き起こす不快な刺激や出来事と引き起こされた緊張状態」と考えられていました。

しかし、研究が進む中で、ストレスはシンプルに「何らかの刺激による心や体の緊張」を指すようになってきました。そこで示された内容には「上手なストレスの感じ方」のヒントになりそうなものもあります。



ストレスとリラクスの両方を感じる生活を!

1. ストレスは快い出来事からも生じる

人間は不快な出来事だけでなく、快い出来事でも緊張します。例えば、「好きな人と話してドキドキする」「友達と話していてテンションが上がる」、これらもストレス状態です。アメリカのホームズ(社会生理学者)とレイ(内科医)は、イベントごとのストレスを数値化(表1)しましたが、その中で「生活の変化」は25点、「引っ越し」は20点です。楽しい新生活でも人はストレスを感じるようです。

2. 刺激はあり過ぎてもだめだけど、なさ過ぎてもだめ

楽しい新生活でもやらなければいけないことが多過ぎるなど、ストレスの元となる刺激が多過ぎると、人は「過剰ストレス」を感じます。しかし、「大学生活にも慣れて同じことの繰り返しはつまらない」というように、刺激が少な過ぎても「過小ストレス」を感じます。そんな時、人は「今度の休みに遊びに行こう」と友達を誘うなどして、テンションが上がる(ストレスに繋がる)刺激を増やそうとします。どうやらストレスはある程度あった方がいいようです。

3. 前向きに考えて「はりのある生活」を

他人から強制され、ずっと緊張し続けると疲れますよね？ しかし、自分のペースで緊張とリラクスを繰り返せるならそれは「生活にはりがある」ことになります。「ストレスを感じるものなんだ」「感じていいんだ」と考えながら、前向きに「はりのある生活」を楽しんでいきましょう。

(表1)
社会的再適応評価尺度(Holmes&Rache, 1967)

出来事	ストレス度	出来事	ストレス度
配偶者の死	100	職場での責任の変化	29
離婚	73	息子や娘が家を出る	29
配偶者との離別	65	親戚とのトラブル	29
拘禁や刑務所入り	63	自分の特別な成功	28
家族の死	63	妻が仕事を始める、辞める	26
自分の怪我や病気	53	学校に行く、終了する	26
結婚	50	生活条件の変化	25
失業	47	習慣の変更	24
婚姻上の和解	45	上役とのトラブル	23
退職	45	労働条件の変化	20
家族の健康上の変化	44	住居の変化	20
妊娠	40	学校の変化	20
性的な障害	39	気晴らしの変化	19
新しい家族ができる	39	宗教活動の変化	19
ビジネスの再調整	39	社会活動の変化	19
経済状態の変化	38	100万以下の借金	17
友人の死	37	睡眠習慣の変化	16
仕事の変更	36	同居家族数の変化	15
配偶者との喧嘩の数	35	食習慣の変化	15
100万円以上の借金	31	休暇	13
借金やローンの抵当流れ	30	クリスマス	12
		軽微な法律違反	11

参考文献
Holmes, T. H. and Rache, R. H. (1967). The Social Readjustment Rating Scale. Journal of Psychosomatic Research, 11, 213-218.
Selye, H. (1936). A Syndrome Produced by Diverse Nocuous Agents. Nature 138, 32.

大学院生研究紹介

体幹筋疲労時における腰痛エクササイズの影響回復効果

保健学専攻
理学療法学分野2年 郷津 良太

私は2014年3月に、本学理学療法学科を卒業し、同年4月に本学大学院に進学しました。現在は週に1、2回程度、胎内市内にある中条中央病院にて臨床経験を積ませていただきながら研究活動に打ち込んでいます。

私は、体幹筋の筋疲労について、佐藤 成登志教授のもと研究をしています。腰痛は、腰の筋肉に過度のストレスがかかることによって発症すると言われています。体幹、主に背中から骨盤に至るまでの筋肉は、人が日常生活を営む中で最もストレスがかかりやすく、かつ問題が発生しやすい部位です。体を常に屈めて作業する人や、立ち仕事、デスクワーク、または運送業のような重い物を持ち運び機会が多い人は、特に腰痛に対する悩みを訴えることが多く、社会的にも問題視されています。

腰痛の原因は様々ですが、中でも特に重要なものの一つに「腰背部の筋疲労」が挙げられます。勉強や仕事などで長時間同じ姿勢をとると筋は疲労し、繰り返すことで疲労が蓄積されます。こうして疲労しやすくなった筋は、腰痛発症のリスクを高めると報告されて

おり、疲労の改善は大変重要だと考えられます。

腰痛に対する治療手段として、腰を安定させる運動やストレッチなど数多くのエクササイズが存在します。しかし、腰痛エクササイズが筋力を回復させる、あるいは痛みを軽減させるなどの研究報告が数多くされている中で、筋疲労に着目した報告は見当たりません。上記で述べたように、筋の疲労と腰痛は密接な関わり合いを持ち、運動をすることで疲労が軽減されるのかを明らかにすることは、臨床現場でも確かな根拠、裏付けを持って治療をすることができますし、普段の生活で腰に疲れを感じたらエクササイズをするというように、腰痛予防としても非常に重要だと考えています。

大学院生になり約1年が経ちましたが、この1年でたくさんの先生方や仲間と出会い、充実した毎日を過ごしています。残りの大学院生生活も大切に過ごし、理学療法士としてはもちろん、人間としても大きく成長したいです。



ベトナムにおける10年間の乳児死亡率の変遷パターン

医療情報・経営管理学専攻
医療情報・経営管理学分野2年 Nguyen Thi Huong

ベトナム出身のグエン・ティ・フォンと申します。平成26年度より開設された医療情報・経営管理学分野の2年生です。毎日勉強・研究に励みながら、充実した留学生生活を送っています。



母国のベトナムは、周辺の東南アジアの開発途上国と同じく様々な社会的問題が存在していますが、一番の問題は乳児死亡率の高さだと思います。乳児死亡率:IMR (Infant mortality rate) とは、年間の出産1,000件当たりの生後1年未満の死亡数ですが、気候、水、大気、予防接種等の医療サービス環境、母体の健康状態、養育条件などの影響を強く受けます。そのため、「地域別比較のための健康状態を示す健康指標」として用いられる重要な指数です。乳児死亡率のデータを見ると、政情不安国・開発途上国で乳児死亡率が高いのに対し、先進国では低いということがわかります。

私の研究テーマは、ベトナムにおける乳児死亡率の変遷パターン(2003年~2013年)です。ベトナムの乳児死亡率は低

下傾向にあります。周辺の先進国と比較するとまだ低いとは言えず、またベトナム国内の県単位でも地域差が大きいです。

私は、乳児死亡率を下げ止まりさせている要因を分析したいと考えています。乳児死亡率の多寡を決定づける社会的・経済的な要素、教育、スキル、健康状況、環境、栄養、ライフスタイルなど様々な要素のデータを収集した後、変動パターンを類型化します。この地域集積性の検証により、乳児死亡率の原因の地域性を分析し、その原因を対策可能なものと不可能なもの(気候等)に分けた上で、地域別対策が必要であることを証明したいと考えています。この研究を行うことにより、歴史的に様々な辛苦を経験してきたベトナムにおいて、多くの乳幼児が健やかに育つきっかけになればと願っています。

大学院では素晴らしい先生方と大学院生の仲間に出会うことができ、研究だけでなく人生観についても学びました。自分の研究が母国ベトナムの役に立てば嬉しいです。



大学生活をより楽しいものにしてくれる
クラブ&サークル活動。

本学では、60以上ものクラブ&サークル
があり、多くの学生が所属し、学業との両
立を実現しています。

よさこい部 舞桃会

- DATA
- ◎活動人数：92名
 - ◎活動日：毎週火・水曜日
 - ◎活動実績：2014年9月にいがた総踊り「想い人賞」受賞

よさこい部 舞桃会は、学内外の行事やお祭り、ボラン
ティアなど、様々なイベントに参加し“よさこい”を披露し
ています。

たくさんの方に“よさこい”を楽しんでもらい、そして感
動や感謝の気持ちを届けることができるよう、日々の練
習に取り組んでいます。



interview



部長
理学療法学科 2年
田中 美菜保

■入部したきっかけを教えてください

友人から誘われ体験入部に行ったとき、先輩の部活への熱意や、心からよさこいを楽しんでいる姿に魅了されました。また、“よさこい”というジャンルがとても新鮮に思え、私もチャレンジし、先輩の皆さんと一緒によさこいを楽しみたいと思い、入部を決意しました。

■よさこい部の魅力を教えてください

様々なイベントに参加するため色々な経験ができること、また部員も多いためいつも賑やかで楽しいことです。そして何より、仲間と共に一つの作品を創り上げていく達成感を味わえ、苦労や感動を共に喜び分かち合える仲間と出会えることが、とても魅力だと感じています。

■学業と両立するための工夫はありますか？

メリハリをはっきりつけていることです。学業の時間が短くなってし

まうことを言い訳にせず、短時間でもその時間を集中して取り組むように心掛けています。

■今後の活動の抱負をお願いします

これからも地域等の学外の活動にも積極的に参加していき、よさこいの素晴らしさや、感動・感謝の気持ちを多くの人に届けていきたいです。そして、「新潟医療福祉大学よさこい部 舞桃会」という名を、大勢の方に知っていただけるよう日々の活動に一層力を入れていきたいと思っています。

■4月から入学する新入生へのメッセージ

部員のほとんどは、よさこいを大学から始めた学生ばかりです。何か新しいことにチャレンジすることは、新たな自分に出会うチャンスでもあります。ぜひ、一緒に新潟医療福祉大学よさこい部の伝統を創っていきませんか？

活動内容

◀ 学内演舞披露

学内では、新入生を迎える桃迎会、夏のオープンキャンパス、伍桃祭（大学祭）で、演舞の披露を中心に活動しています。中



でも、伍桃祭終了後は、2学年が主体としていた活動を次の代へと引き継ぐため、“舞桃会の新たなスタート”を意味します。そのため、全部員にとって伍桃祭は、特別な想いがあり、そして一番熱が入るイベントです。また、伍桃祭に限らず在学学生や高校生に向けて、踊ることの楽しさを感じてもらえるよう、日々練習に励んでいます。本学に来た際は、ぜひ私たちの演舞を見て行って下さい！

01

◀ ビックイベント！ にいがた総踊りへの出場

にいがた総おどりは、毎年9月中旬に開催され、全国各地から200以上のチームが新潟に集結する大きなイベントです。私たちが毎年参加しており、2014年に行われたにいがた総踊りでは、「想人賞」という音楽や踊りの表現力を讃える賞をいただくことができました。にいがた総踊りは、感動・感謝そして仲間の大切さなどを感じることでお祭りでも、迫力も満点です。機会があれば、一度は見ていただきたいイベントです。魅了されること間違いありません！



02

◀ 地域のイベントやボランティアに参加

地域のお祭りや病院祭、老人ホームなど様々なイベントに参加して、私たちの踊りを披露しています。行く先々で、「元気をもたらした」「頑張ってるね！」「ありがとう」などの温かい言葉をいただくことが、私たちのモチベーションアップに繋がります。また、様々な方と関わるため、挨拶などのマナーやコミュニケーション力といった、将来QOLサポーターとして必要な力を自然と養うことができます。これからもよさこいを通じて地域に貢献できるように、積極的に活動に取り組んでいきます。



03

平成26年度新潟医療福祉大学 第11回卒業式・大学院修了式 実施

3月11日(水)、朱鷺メッセにて「平成26年度 新潟医療福祉大学第11回卒業式・大学院修了式」が実施されました。

今回の卒業式では、789名の学部生と36名の大学院生がこの日を迎えることができました。山本 正治学長から学位記が手渡され、登壇者は緊張の面持ちで受け取っておりました。学長式辞の後、平成26年度の学業成績優秀者など延べ72名1団体の表彰が行われ、来賓より祝辞をいただきました。

その後、卒業生代表の言語聴覚学科 本間 美香さんより「卒業生代表誓いの言葉」が述べられました。また、卒業生を代表して臨床技術学科 阿部 拓也さんより大学へ記念品として桜の木4本が贈呈されました。

高齢化が進む日本社会において、さらにニーズの高まる保健・医療・福祉・スポーツ分野の専門職として、大きな希望と責任を胸に、本学を巣立っていった卒業生の今後の大いなる活躍を心より祈っています。



幼児対象の 視力検査講習会を開催

2月23日(月)、26日(木)、3月5日(木)に、視機能科学科実習室にて幼児対象の視力検査講習会が開催され、新潟市の保育園関係者72名が参加しました。

この講習会は、新潟市医師会地域医療研究助成を受けて開催され、視覚の感受性期にある幼児の視機能の管理の徹底および、弱視の早期発見を目指しています。そのため、現行の保育園で視力検査の手技について参加された方々と共有し、より良い視力検査にすることを目的としました。講習会では、視機能科学科1年生が作成した3歳児の視力検査導入紙芝居も披露されました。

参加された皆様から、「視力検査の目的と弱視の早期発見の必要性を知ることができた」等の感想がありました。



新潟医療福祉大学山形県人会が 設立されました

12月24日(水)、学内に「新潟医療福祉大学山形県人会」が設立されました。

本学は、学部学生・大学院生だけでなく、卒業生も対象に、必要な教育的・学術的サービスを必要な時に受けることができる「面倒見の良い大学」を標榜しています。その一環として、同郷の学生・教職員のネットワーク化により充実した大学生活を過ごせる環境作りを目的とした県人会設立を推進しています。

山形県人会は、福島、佐渡、長野に続いての立ち上げとなります。そして、事前に募った有志の学生による「山形県人会設立を目的とするクリスマス会」が開催されました。

本学では、今後も在学生のニーズに応じて様々なエリアの県人会を立ち上げ、学生生活サポートにさらなる尽力をつくっていきます。



第11回日本整形靴技術協会学術集会に おいて本学大学院生が最優秀発表賞を受賞!!

1月30日(金)・31日(土)、東京都渋谷区・恵比寿ガーデンプレイスで行われた第11回日本整形靴技術協会学術集会において、阿部 薫教授のゼミに所属する、大学院博士後期課程/修士課程の大学院生を中心として、教員3名、大学院生11名、学部3年生1名が教育講演2題、パネルディスカッション4題、学術発表13題を行いました。日本整形靴技術協会は1973年に設立された国際整形靴技術連盟(IVO)を構成する日本代表団体で、大変権威のある学会です。

学会の学生発表のコンペでは、全国から多くの学生が参加し、本学の松原 千裕さん(修士1年)が最優秀発表賞(第1位)を受賞し、3月19日・20日にてフランス・パリで開催される「19th IVO World Congress:第19回国際整形靴

技術連盟学術大会」でも一連の研究内容を発表することとなりました。

日頃の地道な学術活動においても、本学の取り組みが全国レベルの学会で評価されたことに、関係者一同、大変嬉しく思っております。今後もこうした活動を積極的に支援していきます。

◆最優秀発表賞(第1位)受賞

松原 千裕(修士1年)「日本工業規格による女子大生の足型寸法の出現頻度」



保護者向け料理教室 「みんなでハッピー☆おひるごはん」を開催

2月28日(土)、ダンス部が開催している「ちびっこハッピー☆ダンス教室」と共同で、健康スポーツ学科の学生らを主体に、保護者向けの料理教室を開催しました。お子さんがダンス教室に参加している間、保護者の方には料理教室にご参加いただき、教室終了後に親子で食事を楽しんでいただきました。

本企画の目的は調理技術や知識の向上ではなく、保護者の皆様およびお子さんの「食べる力」の育成にあります。保護者の方には仲間と楽しく料理をすることで交流と情報交換の場を、お子さんたちはたっぷり身体を動かした後、教室のお友達と楽しく食事をする機会を提供することを狙いとしました。こうした経験は、「一緒に食べたい人がいる」「食事を味わって食べる」といった「食べる力」を育てる基本的な感覚に繋がると考えられます。教室後のアンケートでは、「楽しかった」「参考になった」というご意見のほか、「子どもが苦手な野菜もよく食べていた」という声も聞かれました。



受験生の皆さんへ

イベント案内

夏のオープンキャンパス 第1回/7月18日(土) 第3回/8月9日(日)
第2回/8月 8日(土) 第4回/9月5日(土)

大学説明や入試説明はもちろん、全11学科による70種類以上の体験プログラムを用意し、皆さんの「知りたい」にすべて応えます!



伍桃祭 (大学祭) 1日目/10月11日(日)* 2日目/10月12日(月・祝)
*オープンキャンパスと同時開催

模擬店やMs.&Mr.コンテスト、ゲストを招いてのライブなど、様々なイベントを実施します!ぜひキャンパスライフの楽しさを体感してください!



オープンキャンパス 第1回/ 4月18日(土) 第4回/11月3日(火・祝)
第2回/ 6月21日(日) 第5回/12月5日(土)
第3回/10月11日(日)

小論文対策や英語対策講座など、開催ごとに学外から有名講師を招いて、合格に向けた様々な情報を提供しています。もちろん、大学説明会や学科別説明会など、本学を知ってもらうためのプログラムも満載です!



ホームページ案内

URL <http://www.nuhw.ac.jp/>
携帯 <http://www.nuhw.ac.jp/m/>

サイトへ
簡単アクセス!



新潟医療福祉大学の情報が満載です。新着情報やイベント情報などを随時更新していきます。ぜひご覧ください。
資料請求・イベント申し込み、メールマガジン登録などもこちらからどうぞ。

SNS公式アカウントのご紹介

本学では、各学科や強化指定クラブなどあわせて20種以上のブログや、Facebook、Twitter、LINE等SNSで、様々な情報を発信しています。



Facebook



Twitter



LINE



YouTube



ブログ

大学院 [医療福祉学研究科]

次代の保健・医療・福祉・スポーツ分野を支える指導者・教育者・研究者を養成します。

少子高齢化、生活環境の著しい変化、医療技術の高度化により、保健・医療・福祉サービスシステムは多様化かつ高度化しています。本学大学院は、アジアとなるべく教育・研究体制の整備を進め、この分野の教育・研究を推進し、その成果を社会に還元していきます。

学びやすい制度

長期履修生制度

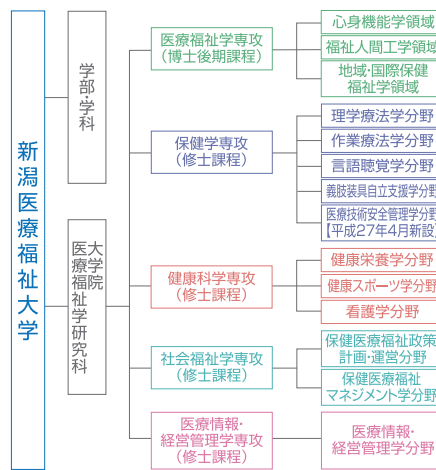
本学大学院では、個々の学生の生活条件・勤務環境などを考慮し、標準修業年限を超えて長期にわたって履修できる制度を設けており、社会人になっても安心して働きながら学べるシステムとなっています。また、長期履修の場合、授業料の納付に関する特例も設けています。

昼夜開講制

本学大学院の時間割においては、働きながら学びたいという方の希望に応えるため、昼夜開講制とし、平日は昼間と夜間に開講(夜間の授業の開始は18:10から)しています。また、土曜日(昼間のみ)または集中授業なども行う工夫をしています。

入学金減免制度・奨学金

本学卒業生が卒業後継続して入学する場合は入学金の全額を、本学既卒者の場合には半額を減免します。
また特待生制度や本学独自の奨学金制度(給付型・貸与型)、日本学生支援機構奨学金など、経済面のサポートも充実しています。



新潟医療福祉大学

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
TEL 025-257-4455(代) FAX 025-257-4456
URL <http://www.nuhw.ac.jp/>
携帯サイト <http://www.nuhw.ac.jp/m/>
【入試事務室】TEL 025-257-4459
E-mail nyuusi@nuhw.ac.jp

誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界一の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同様に、「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが、益々重要になっていきます。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する(サポート)人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様にも本学の内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。

